

なるほどホイール専科



設計にはレーシングホイール開発と同じ手法で、デジタル解析ソフトを駆使して行なわれている。ハブ周りやスポークの付け根など、走行中にかかるストレスをプログラム上で再現し、そのストレスを分散解消できる最適な設計が施されているのだ。また、リムは進化したフローフォーミング技術(回転させながらローラーで熱間鍛圧加工する)により、鍛造並みの強度と剛性を生み出す。

細さの限界と考えてきた8mm幅スポークを解析技術を駆使し立体構造化するなど、大幅にスリム化。また、スポーク側面、裏面を削り込むことでグラム単位の軽量化を果たしつつ、リブ効果で強度をアップさせている。また、応力集中ポイントである、スポークとリムの接合部は厚みを持たせて強度を確保している。こうした設計により、他社の鍛造モデルにも匹敵する軽量・高剛性モデルとして成立しているのだ。

ファッションブルなスポーツモデル

SSR GTX02

サイズ: 16x5.0J~19x9.5J
カラー: グロスブラック、ダークシルバー
価格: 3万4100円~6万1600円

軽量性能に加え、意匠性も追求したというGTX02。10スポークを取り入れたデザインはももちんのこと、ファスナー部分のポリッシュ加工など、オシャレさも磨き上げたデザインが特徴。スリムなスポークにはGTX04同様に軽量化と高剛性を果たすリブ加工が施される。

先端技術解析で軽量と剛性を両立

SSR GTX04

サイズ: 16x5.0J~19x9.5J
カラー: ダークガンメタ
価格: 3万4100円~6万1600円



Impression by FUKADA Tadahiro

GR86もGRヤリスも共通して言えることですが、曲がりた時に曲がる、止まりた時に止まるといった基本性能が格段にアップしています。この特性はまずホイールが軽いことの現れなんです。重いホイールだと慣性が働いてしまっただけで反応が遅れがちなんです。そして重たさを感じるとすると全ての動きや操作がスムーズになっていくんです。さすがは統合的な開発がされているだけあってサスペンション「フロントライドダンパー」とのマッチングも絶妙で、素直なハンドリングと合わせてコーナーでの安心感も高いですね。この性能のよさは初中級者が腕を磨くのもってこいだと思いますよ!!

躍で知られ、最近では積極的に周回走行にも取り組んでいるという深田選手にインプレッションを依頼。SSRのホイールとタナベのサスキットの組み合わせの良さについて聞いてみよう。

サスキットのバリエーションも良くて、軽さが素直なハンドリングにつながっていますね!!

深田真弘



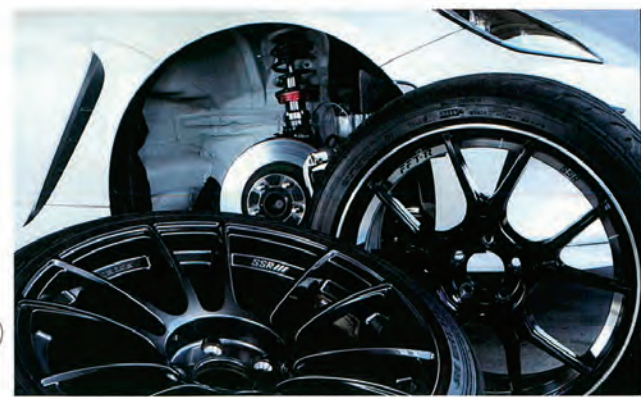
GR 86 GTX02



統合的なフットワーク開発

SSR

PHOTO: 吉見孝夫 REPORT: 渡辺大輔



技術は日々進化していて最新モデルの性能は侮れないですよ!!



タナベ 土居さん

ホイールの製造技術や解析技術は日々進化しているため、新しい製品が常に最善と言えます。例えばフローフォーミング技術も、以前より全体を均一に薄く成形できるようになりました。そんな最新技術を投入したGTシリーズは、ホイールとサスキットなどを合わせて導入していただきたいですね。

サスペンションとの運動設計が活きるSSRの本気系1ピーススポーツホイール

このGTX04に対し、ややデザイン性を高めた設計となっているのがGTX02。スタリッシュさを強調する10スポークには、スポークとリムの結合部に空間を設けるアンダーカット設計が施される。このデザイン性は軽量化の追求と意匠の追求を両立したものだ。そして、さらにSSRを擁するのがフットワークブランドのタナベであることも見逃せない。なぜなら、このスポーツホイールの性能を最大限に引き出すべく、統合的な視野でサスペンションや補強パーツまでトータル的に開発が進められているのだ。というわけで今回はDI1GPなどでの活

GR YARIS GTX04



見た目にも眩い組み立て式3ピースホイールのイメージも強いSSRのホイール一方でスーパーGTなど最高峰のレースシーンにホイールを供給するなど、リアルスポーツモデルの開発にも力を注いでいる。今回紹介するホイールはSSRブランドの中でも最もスポーツ指向の強い1ピースモデルのGTX04シリーズ。軽量かつ高い剛性を備えるスペックに仕立てるため、レーシングホイールの開発現場から得たテクノロジー

tanabe X SSR

総合的なパーツブランドが構築するフットワークのトータルチューン。サスペンションの「tanabe」とホイールの「SSR」、ブレーキパーツの「SUSTEC」を有する総合フットワークブランドのタナベ。特に長年携わってきたモータースポーツ活動のフィードバックを受けたスポーツブランドの「GT」は、各アイテムが有機的に交わり開発が進められている。そのため、アイテムの組み合わせによる総合的なパフォーマンス向上効果は大きい。というわけで、テスト車両のGRヤリスとGR86に装着されていたフットワークとブレーキ系パーツをピックアップしてご紹介。

